

京丹波町における須知高校のあり方懇話会（第 1 回）

次 第

日時 平成 27 年 10 月 29 日（木）
午後 7 時 30 分～
場所 京丹波町役場 議場

1 開 会

2 委嘱状交付

3 町長あいさつ

4 委員紹介及び座長の選出

5 懇話内容

(1) 京丹波町における須知高校のあり方や活性化対策について

(2) 今後のスケジュールについて

(3) その他

・ 次回懇話会開催日程

日時：平成 2 7 年 1 1 月 日（ ） 午前・午後 時 分～

場所：

6 閉会

京丹波町における須知高校のあり方懇話会設置要綱

(設置)

第1条 まち全体の人口減少が見込まれる中、まち・ひと・しごと創生を担う若者の健全な育成の観点から、京丹波町のまちづくりにおける京都府立須知高等学校（以下「須知高校」という。）の今後のあり方や活性化対策について広く意見を求めるために、京丹波町における須知高校のあり方懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

(委員の役割)

第2条 懇話会の委員は、前条に基づき須知高校の今後のあり方や活性化対策について必要な意見を述べるものとする。

(組織)

第3条 懇話会は、委員7名で構成する。

(座長)

第4条 懇話会に座長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 座長は、懇話会の議事を運営する。

3 座長に事故があるとき、または座長が欠けたときは、あらかじめ座長が指定する委員がその職務を行う。

(懇話会)

第5条 懇話会は、座長が必要に応じて招集する。

(委員以外の者の出席)

第6条 懇話会には、委員以外の者を出席させ、意見または説明を求めることができる。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営に関し必要な事項は京丹波町長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成27年9月25日から施行し、平成28年3月31日をもって効力を失う。

京丹波町における須知高校のあり方懇話会 委員等名簿

(50 音順・敬称略)

氏名	所属・役職
井 戸 仁	京丹波町立蒲生野中学校教頭
江 本 和 生	京都府立須知高等学校 PTA 会長
上 田 秀 男	須知高等学校同窓会代表
杉 山 牧	杉山牧場勤務（須知高校卒業生）
谷 山 利 彦	社会福祉法人山彦会勤務（須知高校卒業生）
長谷川 清隆	京都府立須知高等学校校長
平 田 敬 一	京丹波町立瑞穂中学校校長

【事務局】

松 本 和 久	事務局（京丹波町特別参与）
片 野 雅 司	事務局（京丹波町教育委員会指導主事）
久 木 寿 一	事務局（京丹波町企画政策課長）
田 中 晋 雄	事務局（京丹波町企画政策課企画係長）

【参 考】

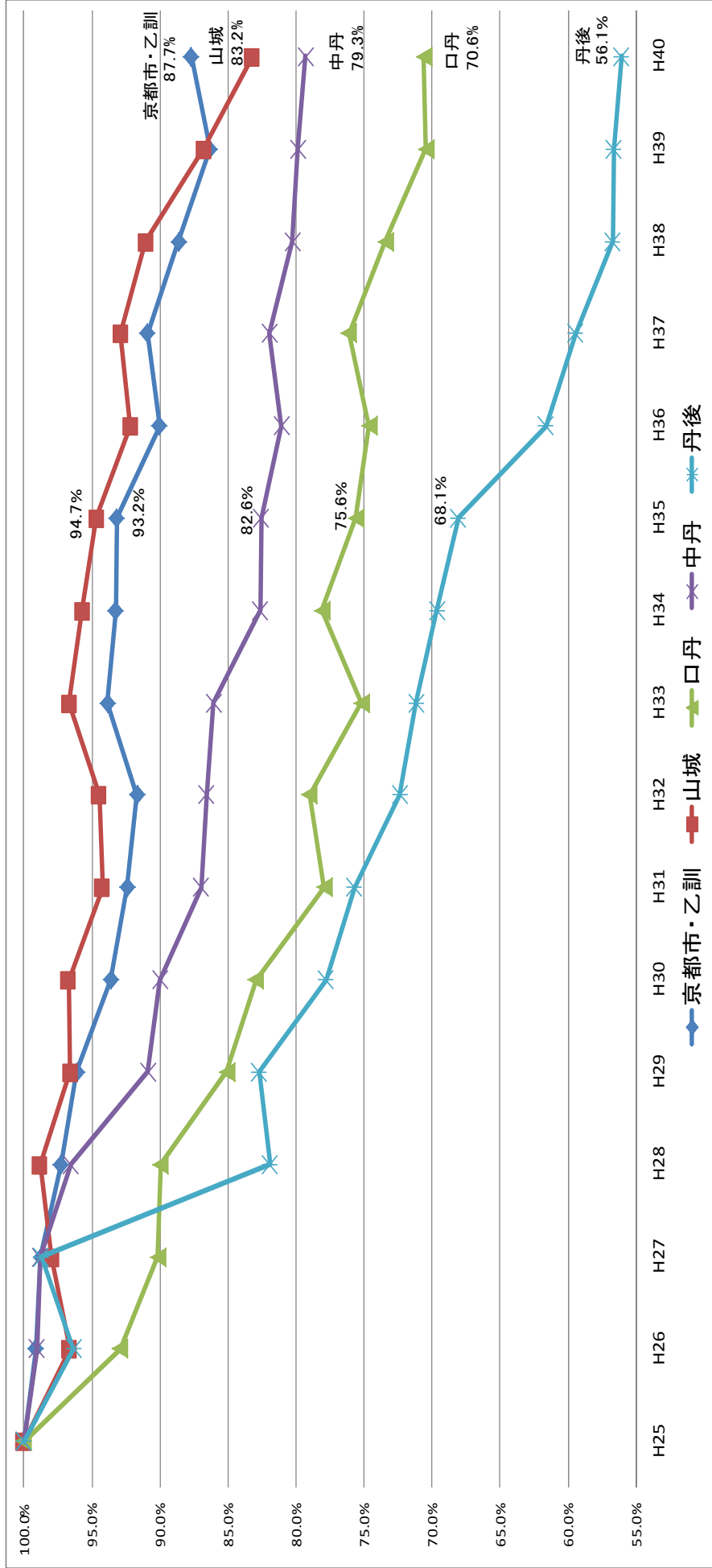
京都府立高校の在り方検討会議
(第1回～第3回) 資料

抜 粋

平成25年度を基準とした中学校3年生数増減率の推計

平成27年8月11日現在

※平成25・26・27年度＝各年5月1日「学校基本調査」によるデータ(平成27年は京都府調査の速報値)
※平成28～35年度＝平成27年5月1日「学校基本調査」(京都府調査の速報値)による推計データ [過去3年間の学年進行率を元に推計]
※平成36～40年度＝各年出生数(暦年)からの推計データ [各年出生数×現小1～6年生の(中3生時推計数/出生数)の平均率]

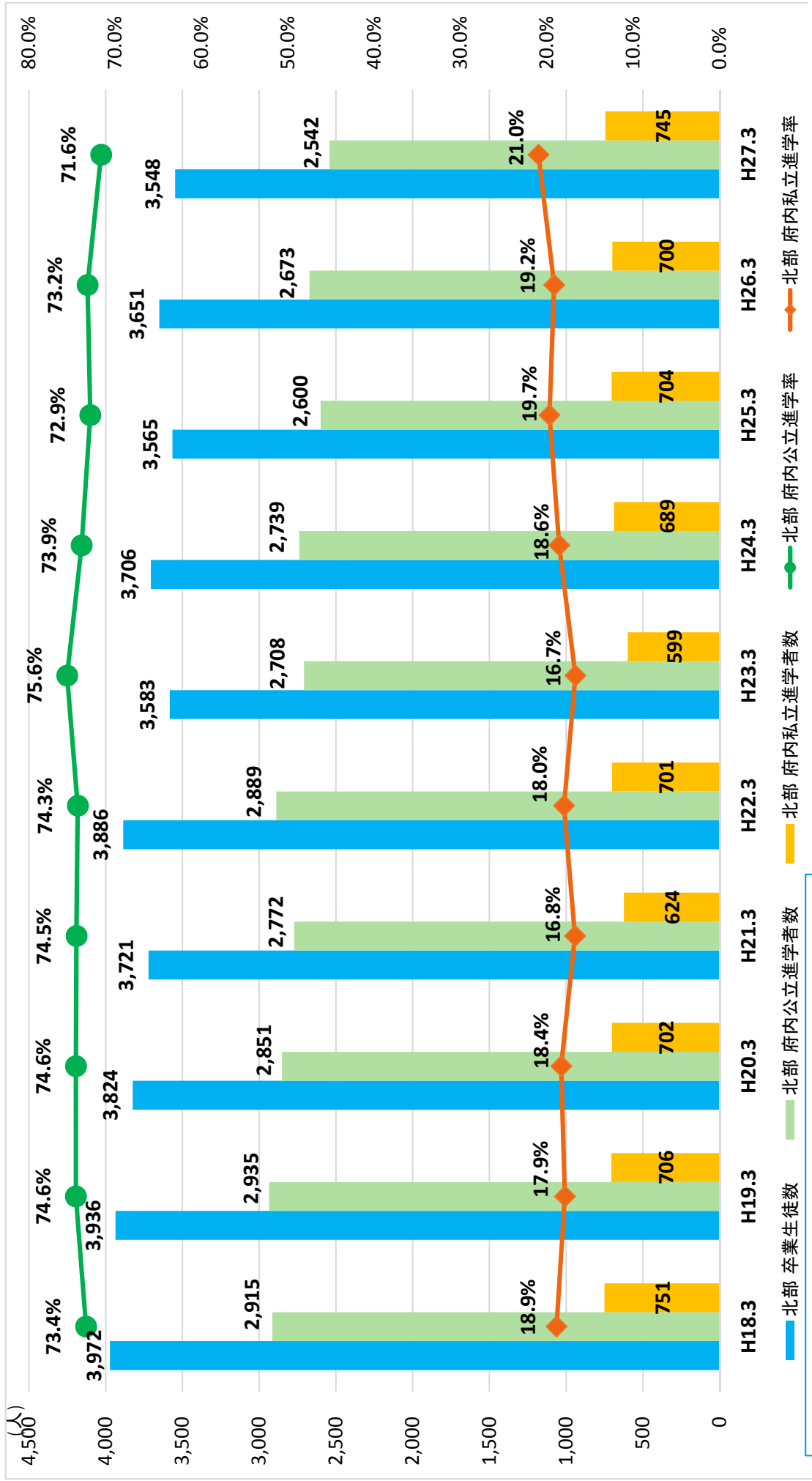


年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
京都市・乙訓	14,542	14,413	14,364	14,146	13,975	13,611	13,437	13,332	13,646	13,559	13,549	13,096	13,223	12,888	12,557	12,756
山城	5,446	5,262	5,334	5,380	5,260	5,266	5,132	5,145	5,265	5,213	5,155	5,019	5,058	4,958	4,725	4,530
口丹	1,483	1,378	1,337	1,334	1,262	1,230	1,156	1,172	1,115	1,158	1,121	1,107	1,129	1,089	1,045	1,047
中丹	2,006	1,987	1,982	1,937	1,823	1,805	1,745	1,737	1,726	1,658	1,656	1,626	1,644	1,610	1,602	1,591
丹後	1,100	1,060	1,086	901	910	856	833	796	783	766	749	678	654	624	623	617
計	24,577	24,100	24,103	23,698	23,230	22,768	22,303	22,182	22,535	22,354	22,230	21,526	21,708	21,169	20,552	20,541

※旧京北町については、「口丹」に含む。

府内中学校卒業生の進路実績の推移③

(北部地域中学校卒業生の府内公立・私立高校 [全日制] 進学状況)



平成27年度 府立高校の学級数及び生徒数

平成27年5月1日現在(速報値)

通学圏	学校名	全日制				定時制	通信制	生徒数(人)					
		普通科		専門学科	総合学科			全日制 総学級数	1年	2年	3年	4年	計
		普通科	スポーツ 美術工芸	学級数									
京都市・乙訓	山城	25		3		28			363	402	367		1,132
	清明						普通4		120				120
	鴨沂	14				14			200	198	148		546
	定時制						普通5		16	36	23	13	88
	洛北	18	3			21			281	278	281		840
	北稜	21				21			280	274	271		825
	朱雀	17				17			243	190	185		618
	定時制						普通9		92	49	34	36	211
	通信制							普通					574
	洛東	21				21			283	261	243		787
	鳥羽	24	3			27			361	361	346		1,068
	定時制						普通9		63	42	43	31	179
	嵯峨野	9		15		24			330	330	329		989
	北嵯峨	27				27			361	360	360		1,081
	桂	21		6		27			358	359	354		1,071
	洛西	27				27			359	358	353		1,070
	桃山	21		6		27			366	363	360		1,089
	定時制						普通、商業12		89	56	50	24	219
	東稜	21				21			281	271	254		806
	洛水	18				18			243	225	207		675
山城	京都すばる			24		24			321	310	313		944
	向陽	15				15			201	201	187		589
	乙訓	15		3		18			242	240	234		716
	西乙訓	15				15			201	196	183		580
	東宇治	21				21			278	280	272		830
	菟道	23				23			280	319	316		915
	城南菱創	12		6		18			244	238	237		719
	城陽	24				24			320	316	292		928
	西城陽	20	3			23			324	320	271		915
	京都八幡	*20				*20			213	203	192		608
	南キャンパス			6		6			57	59	51		167
	久御山	21	3			24			320	321	311		952
	田辺	14		12		26			325	306	264		895
口丹	木津	15		6		21			280	256	218		754
	南陽	21		6		27			337	358	350		1,045
	北桑田	6		3		9			72	74	77		223
	美山分校						農業、家政4		10	5	12	12	39
	亀岡	18	3	3		24			299	310	288		897
	南丹				17	17			180	191	191		562
中丹	園部	12		3		15			167	184	167		518
	農芸			9		9			112	97	80		289
	須知	6		3		9			75	72	91		238
	綾部	15	3			18			241	238	239		718
	東分校			6		6			60	60	53		173
	定時制						普通4		12	8	4	7	31
	福知山	15		3		18			243	218	241		702
	三和分校						農業、家政4		26	18	10	8	62
	工業			15		15			180	179	179		538
	大江	*6		3		9			115	105	98		318
丹後	東舞鶴	16				16			189	195	172		556
	浮島分校						普通4		23	17	16	9	65
	西舞鶴	19		3		22			279	323	278		880
	通信制							普通					184
	宮津	14		3		17			189	228	225		642
	伊根分校						普通4		12	6	11	9	38
	海洋				9	9			100	96	95		291
	加悦谷	10	1			11			120	115	119		354
	峰山	15		3		18			240	235	217		692
丹後	弥栄分校			6		6			21	23	13		57
	網野	9		3		12			143	136	122		401
	間人分校						普通4		11	18	6	13	48
	久美浜				9	9			84	90	70		244
設置校数		40	7	26	2		11	2					
総学級数		681	19	168	26	894	63						
合計 47学校 8分校		700学級		168学級	26学級		普通科 52学級						
全日制学級数		単位制 2校 33学級		単位制 1校	単位制 2校		専門学科						
合計 894学級		総合選択制 2校 26学級		6学級	26学級		11学級						

(注)

- ・設置学科内の数字は、平成27年度の学級数
- ・通信制は学年がないため、生徒数は計欄のみ記載

単位制 * 総合選択制

	1年	2年	3年	4年	合計
全日制計	11,361	11,322	10,764		33,447
定時制計	474	255	209	162	1,100
通信制計					758
総合計	11,835	11,577	10,973	162	35,305

府内公立高校(全日制)の学級規模・募集定員・生徒受入率等の推計

【推計方法】

平成28年度入学者選抜の公立高校の公立中3生数に対する生徒受入率を基本とし、次のとおり仮定して推計

- ①中3生数の推計は「資料3」のとおり
- ②受入率は平成28年度選抜と近似値とする(大幅に変更しない)
- ③募集定員は普通科で20人もしくは40人単位で増減

■京都市・乙訓地域に存する高校

年度		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
		H28選抜	H29選抜	H30選抜	H31選抜	H32選抜	H33選抜	H34選抜	H35選抜	H36選抜
普通科	クラス数	131	129	125	122	119	117	121	119	118
	募集定員	5,240	5,160	5,000	4,880	4,760	4,680	4,840	4,760	4,720
職業に関する学科	クラス数	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	定員	640	640	640	640	640	640	640	640	640
その他の学科	クラス数	27	27	27	27	27	27	27	27	27
	定員	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050
クラス数計		174	172	168	165	162	160	164	162	161
募集定員計(a)		6,930	6,850	6,690	6,570	6,450	6,370	6,530	6,450	6,410
学校数		26	26	26	26	26	26	26	26	26
平均クラス数		6.7	6.6	6.5	6.3	6.2	6.2	6.3	6.2	6.2
当該地域の中3生数		14,364	14,146	13,975	13,611	13,437	13,332	13,646	13,559	13,549
当該地域の公立中3生数(b)		11,578	11,409	11,142	10,940	10,793	10,609	10,889	10,774	10,685
生徒受入率(a/b)		59.9%	60.0%	60.0%	60.1%	59.8%	60.0%	60.0%	59.9%	60.0%

■山城地域に存する高校

年度		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
		H28選抜	H29選抜	H30選抜	H31選抜	H32選抜	H33選抜	H34選抜	H35選抜	H36選抜
普通科	クラス数	64	65	63	63	61	61	63	62	61
	定員	2,560	2,600	2,520	2,520	2,440	2,440	2,520	2,480	2,440
職業に関する学科	クラス数	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	定員	210	210	210	210	210	210	210	210	210
その他の学科	クラス数	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	定員	220	220	220	220	220	220	220	220	220
クラス数計		76	77	75	75	73	73	75	74	73
募集定員計(a)		2,990	3,030	2,950	2,950	2,870	2,870	2,950	2,910	2,870
学校数(分校は本校に含む)		10	10	10	10	10	10	10	10	10
平均クラス数		7.6	7.7	7.5	7.5	7.3	7.3	7.5	7.4	7.3
当該地域の中3生数		5,334	5,380	5,260	5,266	5,132	5,145	5,265	5,213	5,155
当該地域の公立中3生数(b)		5,019	5,095	4,960	4,932	4,799	4,814	4,917	4,868	4,814
生徒受入率(a/b)		59.6%	59.5%	59.5%	59.8%	59.8%	59.6%	60.0%	59.8%	59.6%

■口丹地域に存する高校

年度		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
		H28選抜	H29選抜	H30選抜	H31選抜	H32選抜	H33選抜	H34選抜	H35選抜	H36選抜
普通科	クラス数	15	14	12	12	10	11	10	10	10
	定員	540	520	480	460	400	420	380	400	380
職業に関する学科	クラス数	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	定員	180	180	180	180	180	180	180	180	180
その他の学科	クラス数	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	定員	250	250	250	250	250	250	250	250	250
クラス数計		27	26	24	24	22	23	22	22	22
募集定員計(a)		970	950	910	890	830	850	810	830	810
学校数		6	6	6	6	6	6	6	6	6
平均クラス数		4.5	4.3	4.0	4.0	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7
当該地域の中3生数		1,337	1,334	1,262	1,230	1,156	1,172	1,115	1,158	1,121
当該地域の公立中3生数(b)		1,337	1,334	1,262	1,230	1,156	1,172	1,115	1,158	1,121
生徒受入率(a/b)		72.6%	71.2%	72.1%	72.4%	71.8%	72.5%	72.6%	71.7%	72.3%

「府立高校特色化推進プラン ～魅力あふれる47の特色～」の取組状況

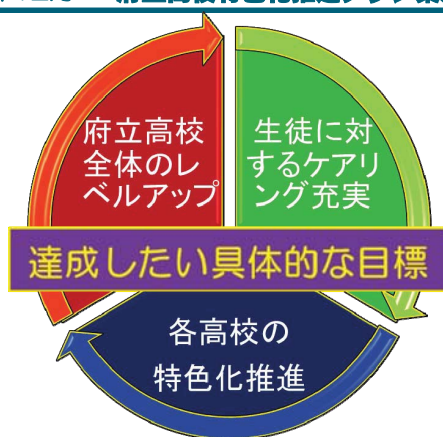
(現状と課題)

- 社会情勢の変化、経済・雇用情勢の悪化、グローバル化・少子化の進展などに伴い、**高校教育を取り巻く環境が激しく変化**
- 高校等への進学率が98%を超え、生徒の学ぶ**意欲や興味・関心、目的意識、進路希望などが多様化**
- 現在、府立高校では、生徒の個性・能力を最大限に伸ばすため、**教育システム・入試制度見直しや各校の魅力づくり**を推進
- さらなる府立高校全体のレベルアップを図り、生徒一人一人に応じた教育と時代の変化に対応した教育を実践するため、**各高校の特色化を推進することが必要**

<アクションプラン>

毎年課題を的確に把握して、専門家の知見を得て課題解決を図っていくしくみ。施策の反映状況をみながら、PDCAサイクルで見直し、次年度の施策形成につながる。

平成24年12月 府立高校特色化推進プラン策定



特色化を進める10の柱

- ①質の高い教育
- ②教職員の資質向上
- ③府民の信頼を得る学校運営
- ④徹底した進路保障
- ⑤修学の支援
- ⑥部活動の充実
- ⑦土曜日の活用
- ⑧多様な人間力の育成
- ⑨発信力・広報力の強化
- ⑩各校独自の施設設備の整備

府立高校生の夢★を叶える 夢に応えられる府立高校づくり事業

○京都フレックス学園構想推進事業

本年4月に開校した府立清明高校の教育環境充実支援

○スーパーグローバルハイスクール設置事業

国際的に活躍できる人材の育成や教育課程を開発

○高校生地域とつながる事業

府立高校生のボランティア活動や地域連携の取組を支援

○京都フロンティア校支援事業

地域連携やICTの活用の推進など、各高校の特色づくりに向けた先進的な取組を支援

○大学研究室連携事業(スクールラボ)

研究者による特別講義や教科指導、共同研究を実施

○府立高校一校一社連携事業

先端企業が高校サポートカンパニーとして特別講座やワークショップ等を実施

○ハイスクール起業チャレンジ支援事業

府立高校生が会社を起業し、オリジナル商品を開発・生産・販売
高校生カンパニー★新たな商品ブランドを企画開発・生産・販売

○高校生学習チャレンジサポート事業

進学予備校のコンテンツを活用した学習指導

○数学オリンピック等チャレンジ事業

○産学連携プログラム推進事業等

経済団体等による講義や高校生による研究論文コンテストの実施



グローバル人材を育てる

グローバル人材育成推進事業 ～高校生の海外留学支援～

○府立高校生グローバルチャレンジ500事業

◆エディンバラ語学研修

「エディンバラ市」での語学研修参加費用の一部補助

◆英語圏での海外短期留学

オーストラリアでの語学研修を始め、短期留学の費用の一部補助

◆海外長期留学・短期派遣支援

○海外サテライト校設置準備

中期間の留学が可能となる府立高校海外サテライト校設置に向けた準備

○国際バカロレア調査研究



京都府立高校ならではの

伝統文化とキャリア教育

★府立高校生の豊かな心の育成と未来をサポート！

○高校生伝統文化事業 ～茶道・華道・古典を通して伝統文化を学習

- ・茶道 全府立高校で実施
- ・華道 府立高校20校程度で実施
- ・古典 府立高校15校程度で実施（連歌や和歌、邦楽、和装文化等）



○京の若者未来支援事業 ～仕事体験など実践的なキャリア教育

- ・外部人材活用キャリアセミナー（民間企業社員や起業家等によるグループワーク・講演会）
- ・キャリア教育サポーター派遣（企業関係者や学識経験者を学校に派遣）

特色化推進プランの施策化（平成25年度～）

グローバルな視点を持ち、
国際社会に発信できる
人材の育成

グローバルネットワーク京都

山城・鳥羽・洛西・菟道・城南菱創・西城陽・園部・峰山

京都フロンティア校

清明・鴨沂・北稜・朱雀・洛東・北嵯峨・北桑田・東稜・洛水・向陽・乙訓・西乙訓・
東宇治・城陽・京都八幡・久御山・田辺・木津・須知・綾部・
綾部（東分校）・福知山（三和分校）・大江・東舞鶴・東舞鶴（浮島分校）・
宮津（伊根分校）・加悦谷・網野・網野（間人分校）・久美浜

学校が自ら設定した
テーマに基づく
先進的な取組を支援

独創的な科学研究により
世界をリードできる
人材の育成

スーパーサイエンスネットワーク京都

洛北・嵯峨野・桂・桃山・南陽・亀岡・福知山・西舞鶴・宮津

スペシャリストネットワーク京都

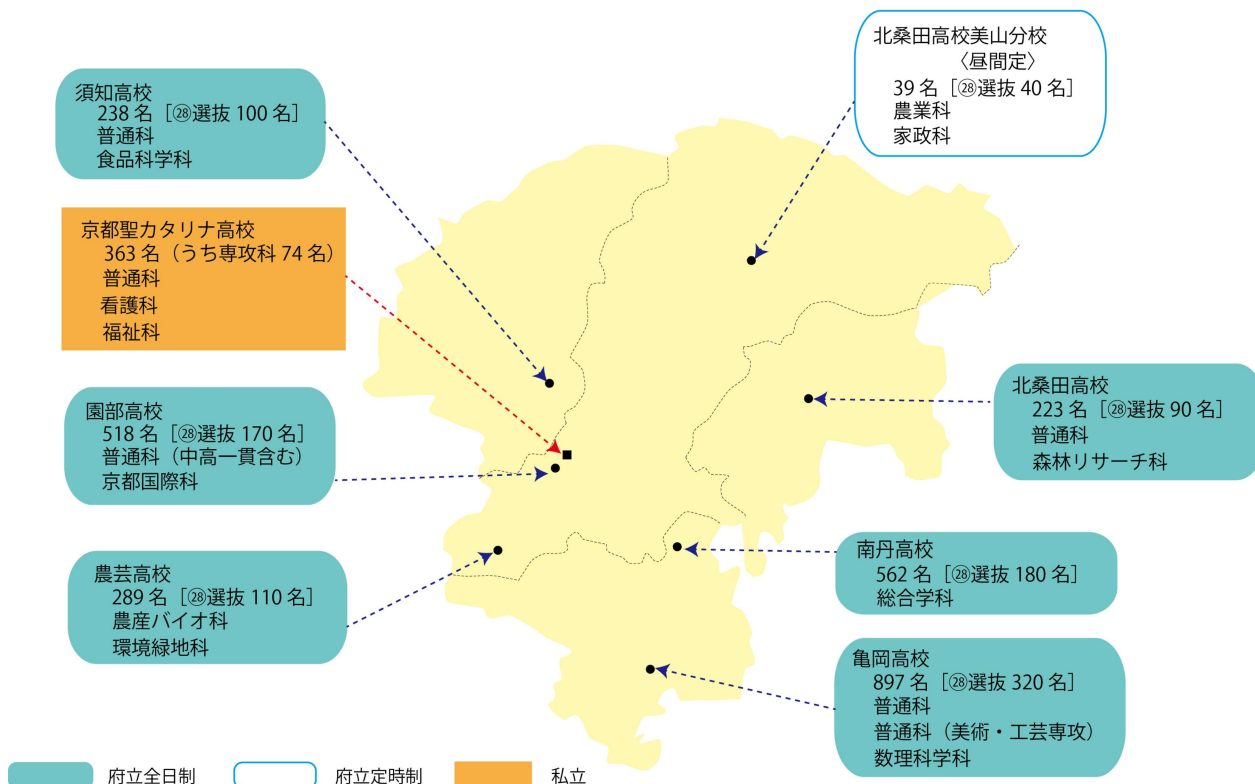
京都すばる・南丹・農芸・工業・海洋

社会・経済構造の変化に対応する
真の職業人
（スペシャリスト）を育成

口丹・中丹・丹後地域の高校の配置状況等

口丹地域の高校の配置

※数字は平成 27 年 5 月 1 日現在の全校生徒数（速報値）、〔 〕内は平成 28 年度入学者選抜募集定員



[全日制課程]

学校名	学科	通学区域	
		通学圏等	学区
北桑田	普通科	口丹通学圏	京都市(周山中学校の通学区域に限る。) 南丹市(美山中学校の通学区域に限る。)
	森林リサーチ科	府内全域	—
亀岡	普通科	口丹通学圏	亀岡市
	普通科 (美術・工芸専攻)	京都市・乙訓通学圏 口丹通学圏 ※調整区域:山城通学圏、中丹通学圏、丹後通学圏	—
	数理科学科	府内全域	—
南丹	総合学科	亀岡市の区域 ※調整区域:京都市・乙訓通学圏、山城通学圏、 口丹通学圏(亀岡市の区域を除く)	—
園部	普通科	口丹通学圏	南丹市(他の学区に属する地域を除く。)
	普通科(中高一貫)	—	—
	京都国際科	府内全域	—
農芸	農産バイオ科 環境緑地科	府内全域	—
	普通科	口丹通学圏	京丹波町
須知	普通科	口丹通学圏	京丹波町
	食品科学科	府内全域	—

[定時制課程]（通学区域は府内全域）

学校名 (分校名)	学科
北桑田 (美山)	農業科 家政科

★口丹通学圏の高校(普通科)にあつては、当該高校の学区を除く通学区域から入学できるのは、普通科募集定員の20%以内とする。なお、前期選抜については、中丹・丹後通学圏からも志願できる。

例) 亀岡高校の場合: 普通科募集定員240名

…亀岡市以外から入学できるのは48名まで

口丹・中丹・丹後地域の公立中学校3年生数と 府立高校(全日制)の学級規模の推計

■普通科の学区別公立中学校3年生数の推計

学校名	普通科の学区	平成27年 28年度選抜	平成28年 29年度選抜	平成29年 30年度選抜	平成30年 31年度選抜	平成31年 32年度選抜	平成32年 33年度選抜	平成33年 34年度選抜	平成34年 35年度選抜	平成35年 36年度選抜
北桑田	京都市右京区 (周山中学校区)	37	39	38	31	43	39	39	31	33
	南丹市 (美山中学校区)	35	24	31	23	13	32	20	17	25
亀岡	亀岡市	863	862	831	800	754	760	728	772	767
園部	南丹市 (美山中学校区除く)	283	275	255	261	244	235	234	249	209
須知	京丹波町	119	134	107	115	102	106	94	89	87
口丹地域 計		1,337	1,334	1,262	1,230	1,156	1,172	1,115	1,158	1,121
綾部	綾部市	362	308	290	290	270	284	274	264	248
福知山	福知山市	701	762	756	662	710	714	670	674	661
東舞鶴	舞鶴市 (青葉・白糸・和田・ 若浦中学校区)	480	475	442	455	411	419	425	391	420
西舞鶴	舞鶴市 (城南・城北・加佐 中学校区)	406	346	307	366	318	286	324	296	295
中丹地域 計		1,949	1,891	1,795	1,773	1,709	1,703	1,693	1,625	1,624
宮津	宮津市	169	143	136	134	131	138	140	130	114
	伊根町	14	12	13	13	10	6	4	12	9
	与謝野町 (橋立中学校区)	62	42	50	51	44	50	49	50	52
加悦谷	与謝野町 (橋立中学校区除く)	213	152	163	138	170	138	137	123	125
峰山	京丹後市 (峰山・大宮・丹後(豊栄小 学校区に限る)・弥栄中 学校区)	341	298	301	298	264	259	255	256	246
網野	京丹後市 (峰山高校の学区を除く)	287	254	247	222	214	205	198	195	203
丹後地域 計		1,086	901	910	856	833	796	783	766	749

※平成27年度＝各年5月1日基本数調査によるデータ（平成27年は速報値）

※平成28～35年度＝平成27年5月1日基本数調査（速報値）による推計データ

■府立高校(全日制)の学級規模の推計

【推計方法】

平成28年度入学者選抜の公立高校の公立中3生数に対する生徒受入率を基本とし、次のとおり仮定して推計（第1回検討会議「資料9」とは方法が異なるため数値は一致していない。）

- ①中3生数の推計は上記のとおり
- ②受入率は平成28年度選抜の地域別数値と近似値とする（大幅に変更しない）
- ③府立農芸高校・工業高校・海洋高校については、学校の存する地域からの過去の進学実績の平均値を横置き
- ④府立綾部高校東分校と峰山高校弥栄分校の募集定員及び園部高校と福知山高校の中学校内部進学分は横置き
- ⑤府立南丹高校と久美浜高校の総合学科、府立大江高校については、地域全体の平成27年度中3生数と平成34年度推計値の比率を平成28年度選抜の募集定員に乗じて積算
- ⑥その他の高校の募集定員については、普通科学区内の平成27年度中3生数と平成34年度推計値の比率を平成28年度選抜の該当校の募集定員（普通科と専門学科の計）に乗じて積算

<口丹地域>

学校名	年度	27		35
	選抜年度	28		36
北桑田	普通科・森林リサーチ科	3 cl	90	2 cl 70
亀岡	普通科・普通科(美術・工芸専攻)・数理科学科	8 cl	320	7 cl 280
南丹	総合学科	5 cl	180	4 cl 150
園部	普通科・京都国際科	4 cl	130	3 cl 100
	中高一貫(普通科)	1 cl	40	1 cl 40
須知	普通科・食品科学科	3 cl	100	2 cl 70
募集定員 小計 (a)		24 cl	860	19 cl 710
農芸	農業学科群	3 cl	110	3 cl 110
	うち口丹地域(b) [推計]		65	[推計] 65
計 (c=a+b)			925	775
当該地域の公立中3生数 (d)			1,337	1,121
生徒受入率(c/d)			69.2%	69.1%

<中丹地域>

学校名 (分校名)	年度	27		35
	選抜年度	28		36
綾部	普通科・普通科(スポーツ総合専攻)	6 cl	240	4 cl 160
綾部(東)	農芸化学科・農業科・園芸科	2 cl	60	2 cl 60
福知山	普通科・文理科学科	5 cl	200	5 cl 180
	中高一貫(文理科学科)			1 cl 40
大江	普通科・ビジネス科学科	3 cl	120	3 cl 90
東舞鶴	普通科	5 cl	200	4 cl 160
西舞鶴	普通科・理数探究科	7 cl	280	5 cl 200
募集定員 小計 (a)		28 cl	1,100	24 cl 890
工業	機械プランニング科・生産システム科・ 電気エネルギー科・ 電子コミュニケーション科・情報システム科	5 cl	180	5 cl 180
	うち中丹地域(b) [推計]		165	[推計] 165
計 (c=a+b)			1,265	1,055
当該地域の公立中3生数 (d)			1,949	1,624
生徒受入率(c/d)			64.9%	65.0%

<丹後地域>

学校名 (分校名)	年度	27		35
	選抜年度	28		36
宮津	普通科・建築科	5 cl	190	4 cl 150
加悦谷	普通科	3 cl	120	2 cl 70
峰山	普通科・産業工学科	6 cl	240	4 cl 150
峰山 (弥栄)	農園芸科・家政科	2 cl	40	2 cl 40
網野	普通科・企画経営科	4 cl	150	3 cl 100
久美浜	総合学科	3 cl	90	2 cl 60
募集定員 小計 (a)		23 cl	830	17 cl 570
海洋	海洋学科群	3 cl	100	3 cl 100
	うち丹後地域(b) [推計]		32	[推計] 32
計 (c=a+b)			862	602
当該地域の公立中3生数 (d)			1,086	749
生徒受入率(c/d)			79.4%	80.4%

平成27年度入学者選抜 口丹・中丹・丹後地域の府立高校入学者の状況 (出身中学校等の存する地域別)

<口丹地域：全日制>

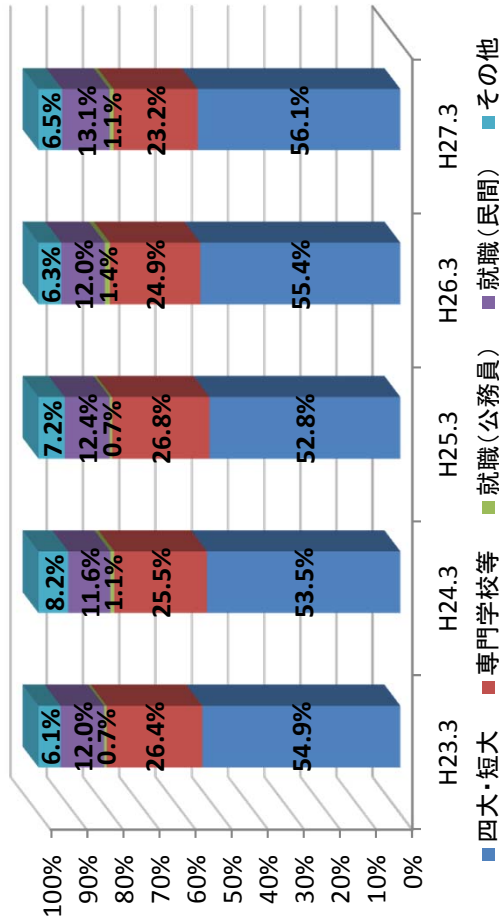
出身中学校等の 存する地域	北桑田			亀岡			南丹		園部		農芸		須知		総計
	普通	森林 リサーチ		普通	普通 (美工)	数理 科学	総合 学科		普通	京都 国際	農業 学科群	普通	食品 科学		
京都市	1	13		1	7	3					40		2		67
総計に対する比率	2.1%	54.2%		0.4%	25.0%	8.8%					36.4%		5.9%		7.8%
乙訓地域			1				1				2				4
総計に対する比率		4.2%					0.6%				1.8%				0.5%
山城地域		1			2						7		1		11
総計に対する比率		4.2%			7.1%						6.4%		2.9%		1.3%
口丹地域(周山中含む)	46	7		236	18	30	177		96	29	61	40	29		769
総計に対する比率	97.9%	29.2%		99.6%	64.3%	88.2%	98.3%		100.0%	96.7%	55.5%	100.0%	85.3%		89.4%
中丹地域										1			2		3
総計に対する比率										3.3%			5.9%		0.3%
私学・特別支援学校・他府県		2			1	1	2								6
総計	47	24		237	28	34	180		96	30	110	40	34		860

<中丹地域：全日制>

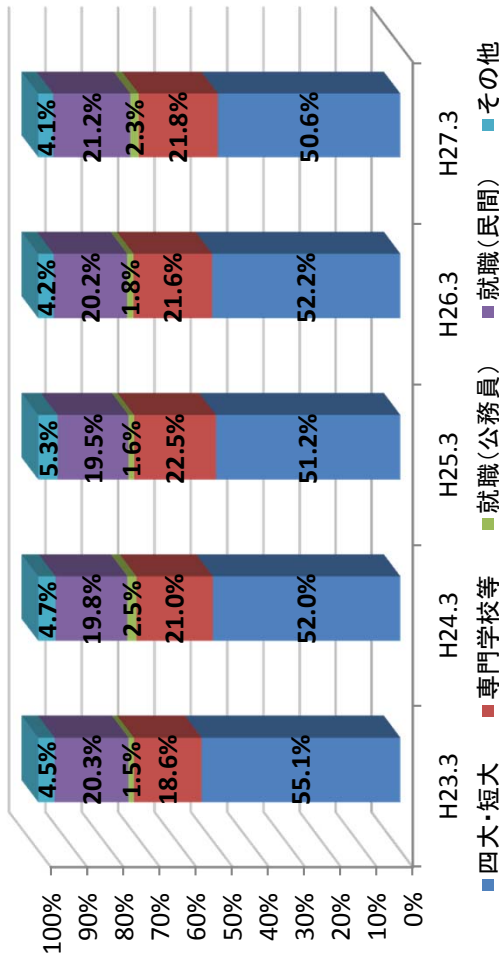
出身中学校等の の存する地域	綾部		綾部(東)			福知山		工業				西舞鶴		東舞鶴		大江		総計
	普通	普通 (スポ)	農業	園芸	農芸 化学	普通	文理 科学	機械ブラン ニング	生産 システム	電気エネ ルギー	電子コミュニ ケーション	情報 システム	普通	理数 探究	普通 (総合)	ビジネス 科学		
口丹地域(周山中含む)		1	1		1	4	2	2										11
総計に対する比率		2.4%	6.7%		3.3%	2.0%	4.7%	5.6%										0.8%
中丹地域	200	40	14	15	29	195	38	34	35	35	33	33	183	234	37	70	33	1,258
総計に対する比率	100.0%	97.6%	93.3%	100.0%	96.7%	98.0%	88.4%	94.4%	97.2%	97.2%	91.7%	91.7%	97.9%	98.7%	97.4%	92.1%	86.8%	96.8%
丹後地域							1					1		1	1	5	5	14
総計に対する比率							2.3%					2.8%		0.4%	2.6%	6.6%	13.2%	1.1%
私学・特別支援学校・ 他府県							2		1	1	3	2	4	2		1		16
総計	200	41	15	15	30	199	43	36	36	36	36	36	187	237	38	76	38	1,299

口丹・中丹・丹後地域の府立高校卒業生の進路実績の推移

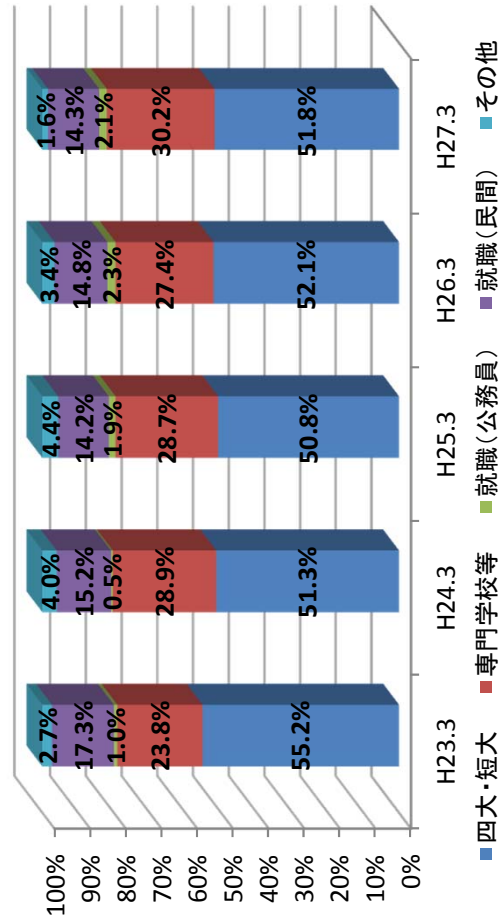
口丹地域



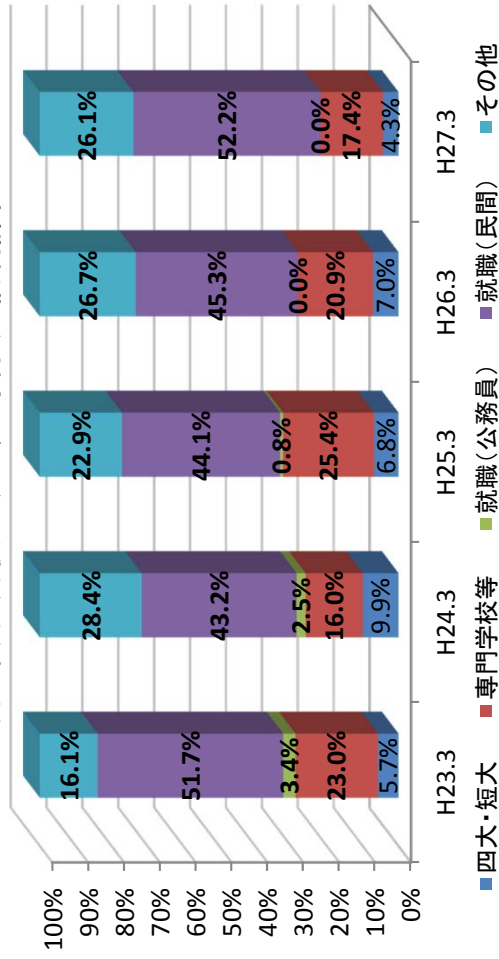
中丹地域



丹後地域



口丹・中丹・丹後地域の定時制・通信制課程

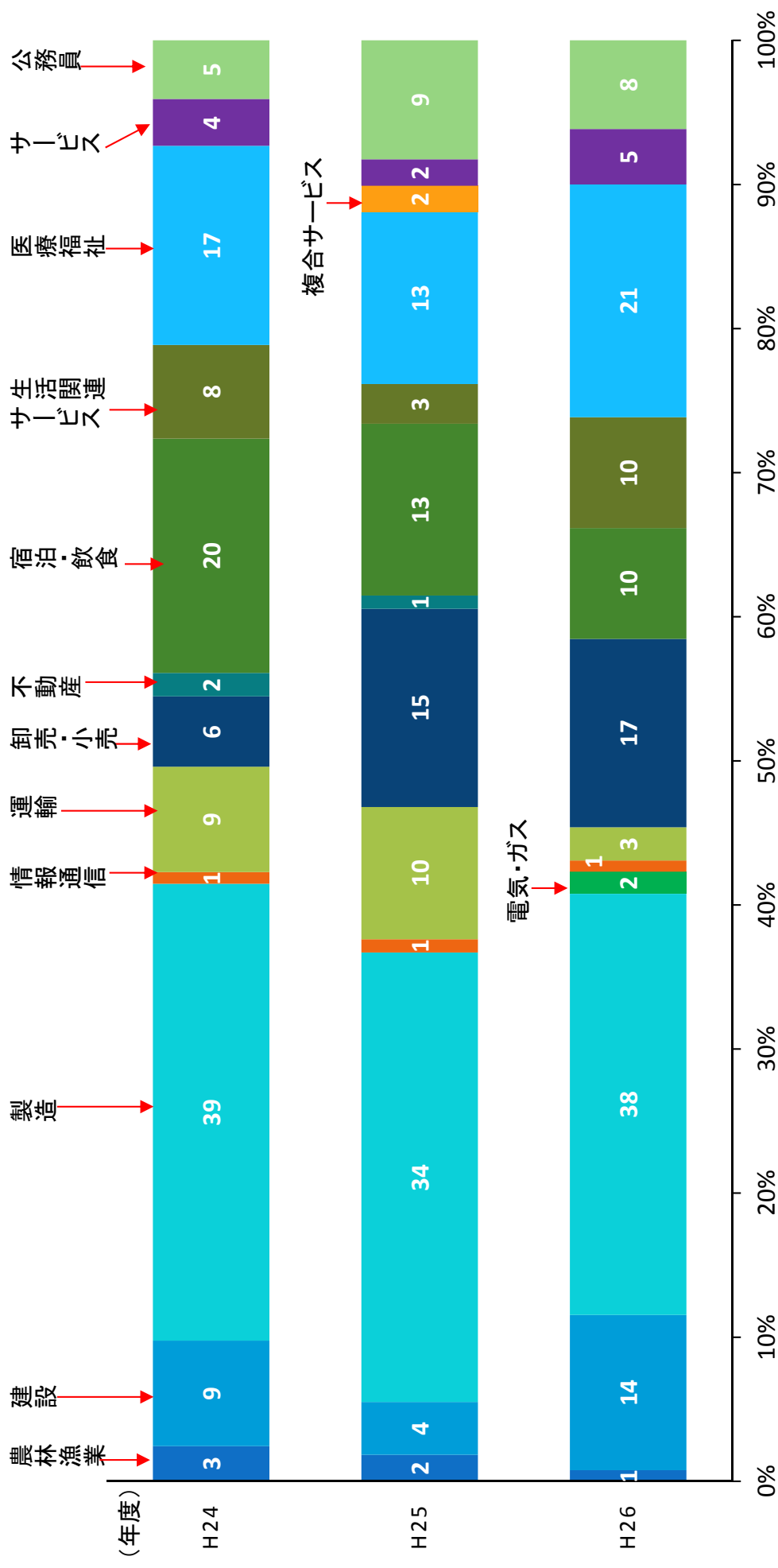


※出典：高校教育課「府立高校卒業生の進路決定状況」

口丹・中丹・丹後地域の府立高校卒業生の職業別就職状況

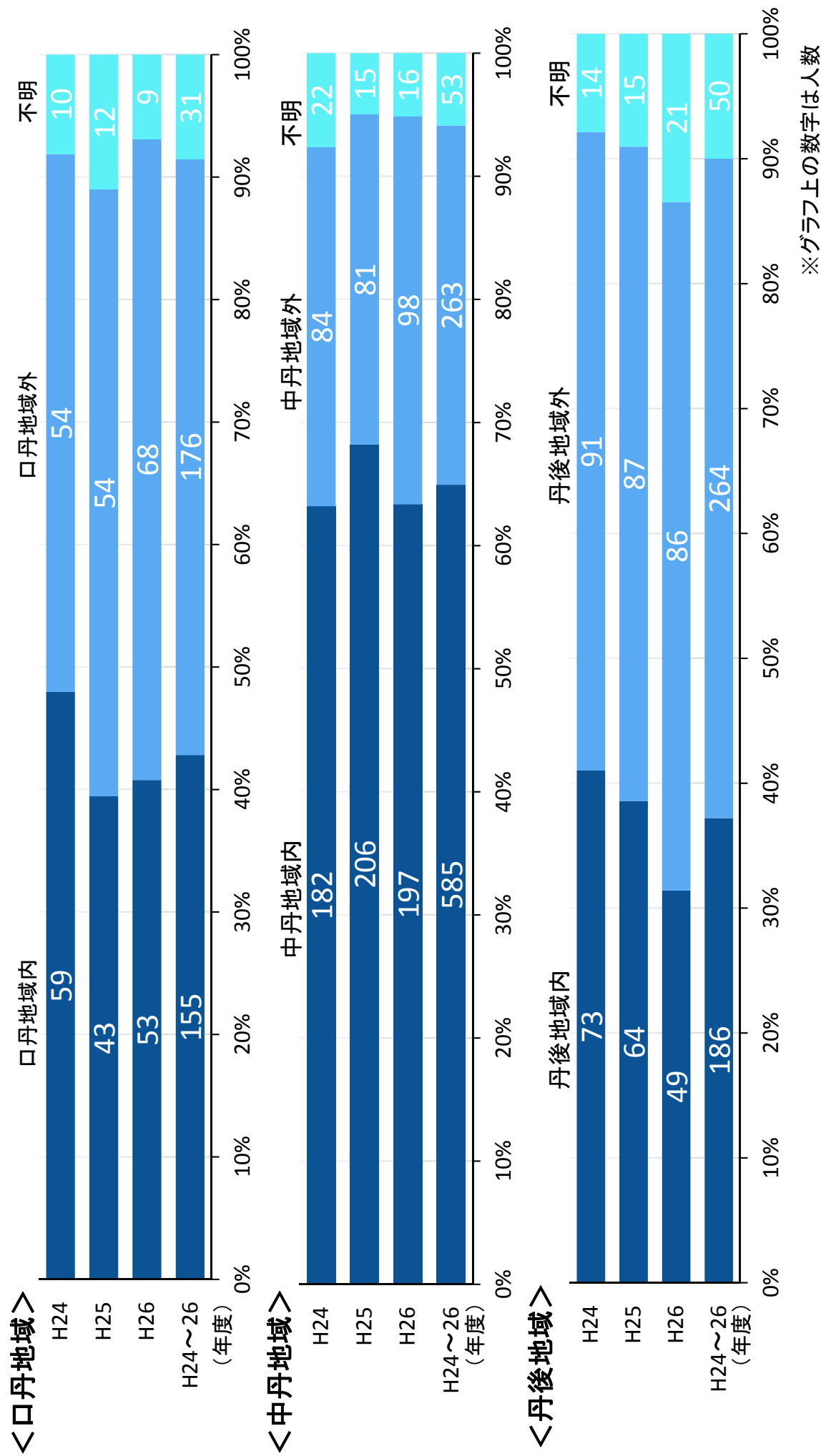
※出典：高校教育課「府立高校卒業生の進路決定状況」(再編加工)

<口丹地域>



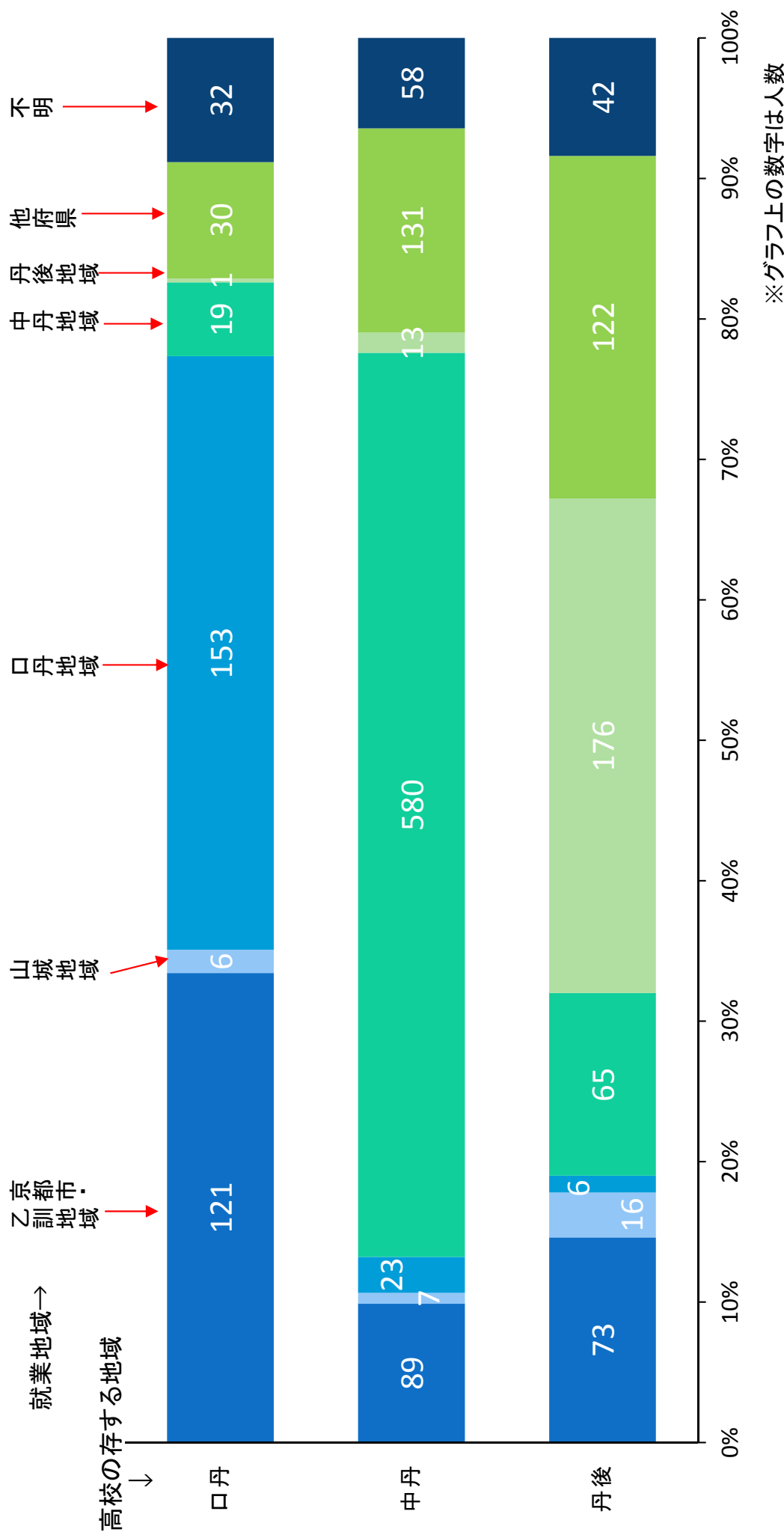
口丹・中丹・丹後地域の府立高校卒業生の就業地域①

※出典：高校教育課「府立高校卒業生の進路決定状況」(再編加工)



口丹・中丹・丹後地域の府立高校卒業生の就業地域（平成24～26年度の計）②

※出典：高校教育課「府立高校卒業生の進路決定状況」（再編加工）



京都府産業教育審議会提言の概要

「府立高校における農業教育の在り方について（提言）」

（平成25年 1 月 京都府産業教育審議会）

■提言の概要

1 府立高校における農業教育の現状と課題

- ・ 20年近く学科改編が行われていないため、学習内容が設置当初から変化してきており、学科の名称からは学習内容が伝わりにくくなっている
- ・ 志願できる地域が限られている学科があり、生徒が希望しても居住地によって志願できない学科がある。
- ・ 就職する生徒のうち、約 3 分の 2 が農業と関連のない産業へ就職している。
- ・ 施設・設備の陳腐化、老朽化により最先端の学習が行えない状況となっている。
- ・ 分校については、設置当初の目的とは、異なる役割を果たしている側面がある。
- ・ ベテラン教職員の大量退職が見込まれる中、ベテラン教職員から若手教職員への技術力・指導力の継承、若手教職員の資質向上が必要である。

2 求められる農業教育の在り方

- ・ 将来の農業の担い手となる人材の育成をめざし、専門科目だけではなく、普通科目の基礎・基本も重視しながら、生産から流通までの幅広い学習を行うことが必要である。
- ・ 6 次産業化を意識した教育を行うに当たり、学校・学科間で連携した取組が必要である。
- ・ 栽培や加工等、各学校の得意分野を活かし、地域、企業、大学等と連携した取組を充実させる必要がある。
- ・ 生徒が各学科の特色を踏まえ、全ての農業科の中から進学先を選択できるよう、通学区域を見直す必要がある。
- ・ 現在、約 6 割の生徒が進学しており、進学を希望する生徒を対象とするコースの設定や進学に対応する教育課程の編成等、進学への対応が必要である。
- ・ 就農や関連産業への就職を促進するため、農林行政や農林団体等と連携した支援体制等について検討すべきである。
- ・ 遠隔地から通学する生徒が学習や部活動に集中できるよう寮や通学を支援するためのスクールバスが必要である。

3 地域の特性を活かした農業高校の在り方について

- ・ 地域、企業、関連団体、行政機関等と連携し、地域の人材や資源を活用しながら、地域の活性化につながる取組をさらに進めるべきである。
- ・ 耕作放棄地の拡大など地域の課題について理解を深め、地域の中で学校が果たせる役割を検討することも必要である。
- ・ 南丹以北の地域については、今後の生徒数の動向も見据え、各学校や学科の果たすべき役割や機能分担、適正な配置を検討すべきである。
- ・ 分校は、設置当初とは異なる役割を果たしている側面があるため、今後の生徒数の動向も見据え、その在り方について、京都フレックス学園構想等も含め幅広い視点から検討すべきである。

■地域の特性を活かした農業高校の在り方（提言の抜粋）＞

◎基本的な方向性

- ・地域社会・産業・行政、団体及び大学・研究機関等と連携し、地域の人材や資源を有効に活用するとともに、地域産業の活性化や地域振興に寄与することが求められる。
- ・地域の特性を活かした農業高校の在り方を検討する場合、次のような視点が不可欠
 - ア 地域の農家、企業、農業関連団体等との連携
 - イ 地域の農業の担い手育成を意識した取組
 - ウ 地域の行政機関との連携
 - エ 学習内容や学校の取組についての地域への積極的な情報発信
 - オ 地域の将来的な生徒数の推移等を見据えた学校、学科の適正配置と機能分担
- ・地域の農業の担い手を育成するという観点から、農業大学校と連携し、農業経営者としての自立に向けた５年程度一貫した学習を行うコースの設定するなど、新たな農業科の在り方も検討すべき。

◎南丹地域 ―今後の農業教育の方向性―

- ・地域振興の観点からも高校の果たす役割は大きなものがあり、地域と連携した取組を一層充実させるとともに、高校生がまちづくりに参加するなど、地域に密着した農業教育を行うことが必要
- ・今後、少子化等による生徒数の減少が見込まれることを踏まえ、第６次産業化への対応等も考慮の上、各学校や学科の果たすべき役割や機能分担、適正な配置を検討することが必要
- ・類似する学科の再編、整理や生徒のニーズに応じた学科編成について検討するとともに、府の農業教育の中核校の役割を整理し、機能を充実させるなど、それぞれの学校や学科の特色が明確となるよう、その在り方を検討する必要がある。
- ・分校の今後果たすべき役割や適正な配置について幅広い視点から検討すべき。
- ・寮（２校に設置）の有効な活用方法について検討するとともに、施設の老朽化に対処することが必要
- ・各学校とも交通の不便な場所に立地していることから、通学に係るスクールバスの導入等の支援についても検討する必要

◎中丹・丹後地域 ―今後の農業教育の方向性―

- ・少子高齢化、人口減少、耕作放棄地や野生鳥獣被害などの課題について理解を深め、課題解決に向けて、学校がどのような役割を果たせるか検討することが必要
- ・農業は重要な産業の一つであり、農業経営者として自立できる知識・技能の習得を目指した教育内容も求められている。府立農業大学校や府の丹後農業研究所等と連携した取組についても深めていく必要がある。
- ・卒業後の農業法人での研修や一度就職した後、地域に戻り就農する場合の仕組みづくりについて、農林行政及び農林団体と連携し検討していくことも求められる。
- ・分校や総合学科の在り方については、幅広い観点から総合的に検討することが必要
- ・今後、生徒数の減少が見込まれるため、学校や学科の再編も検討すべきであるが、その際には、生徒の通学に係る負担を軽減する支援制度や施設・設備の整備など学習環境を整備し、より魅力的な農業科となるよう学科の内容を充実させることが重要

京丹波町における須知高校のあり方懇話会傍聴要領

1 傍聴する場合の手続き

- (1) 京丹波町における須知高校のあり方懇話会の傍聴を希望される方は、会議の開催予定時刻までに、係員の指示に従って会場に入室してください。
- (2) 傍聴の受付は先着順で行いますので、定員（１０名）になり次第受付を終了します。

2 傍聴にあたって守るべき事項

傍聴者は、会議を傍聴するにあたり、次の事項を守ってください。

- (1) 会議開催中は、静粛に傍聴することとし、拍手その他の方法により賛成、反対の意向等を表明しないこと。
- (2) のぼり、旗、プラカード、鉢巻き、たすき、ゼッケンその他示威のために利用すると認められるものの携帯又は着用をしないこと。
- (3) 談話をし、又は騒ぎ立てる等、会議の妨害となるような行為をしないこと。
- (4) 会場において飲食又は喫煙をしないこと。
- (5) 会場において、写真撮影、録画、録音等は行わないこと。ただし、事前に懇話会の座長が認めた場合は、この限りではありません。
- (6) その他会議の議事運営に支障となる行為をしないこと。

3 会議の秩序の維持

- (1) 上記２のほか、傍聴される方は、係員の指示に従ってください。
- (2) 傍聴される方が上記のことを守られない場合は、退場していただくことがあります。
- (3) 会議中、会議の秩序維持ができなくなった場合及び緊急的に公開できない事項を取り扱う必要が生じた場合は、会議を途中で非公開とする場合があります。